

半藤一利『焼けあとのちかい』に学ぶ —開戦日 12月8日を前に—

本年1月に亡くなった半藤一利は、文藝春秋社で文藝春秋編集長・専務取締役等を務めた後独立。戦史や近現代史の研究家としての地位を築き上げた。今でも昭和史に関する著作群はベストセラーを続けており、絵本形式の『焼けあとのちかい（大月書店）作：半藤一利 絵：塚本やすし』は、半藤の遺書と言っている一冊である。

12月8日は太平洋戦争の開戦日。その直前に、半藤を偲んで著書を朗読。塚本の戦争関係の著作にも触れて、戦争の悲惨さ、平和の尊さを伝えていく。



塚本 やすし(ツカモト ヤスシ)
絵本作家

『焼けあとのちかい』の絵を担当。『せんそう 昭和20年3月10日東京大空襲のこと』、『戦争と平和を見つめる絵本 わたしのやめて』等、戦争を記録する絵本を多数手がけている。また『やきざかなのろい』『このすしなかに』等子供向けの絵本も人気をよんでいる。ようちえんえほん大賞他受賞多数。



藤代 勇人(フジシロ ハヤト)
編集者・紙ヒコーキ舎主宰

『焼けあとのちかい』の編集担当。出版社で書籍編集に携わった後に独立。永六輔『生き方、六輔の。』山本美香写真絵本『これから戦場に向かいます』等を手がける。著書に絵本『まご』『日の丸 日本を知るための50景』ほか。



村山 祐季子(ムラヤマ ユキコ)
ゆきこミュージックスタジオ主宰
青山学院大学兼任講師

絵本と音楽のコラボレーション演奏の第一人者。NHK Eテレアニメ『がんばれ！ルルロロ』、『くまのがっこうわくわく応援シリーズ（キングレコード発売）』等の楽曲も手がけている。

2021年

12月4日 (土)

14:00～15:30 (13:30 開場)

定員：100名（事前申込順、定員に達し次第締切）

参加費：1000円（千代田区民500円）
千代田区民親子連れ500円
（同伴のお子様1名様に限り無料）

千代田区民の方は当日住所の確認ができるものをお持ちください

会場：日比谷図書文化館

地下1階 日比谷コンベンションホール（大ホール）

今後の新型コロナウイルス感染拡大状況により、変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

お申込み
ホームページのお申込みフォーム
電話(03-3502-3340)
いずれかにて
①講座名
②お名前(よみがな)
③電話番号
をご連絡ください。

小学生以下のお子様に参加される場合
保護者の同伴が必要です。
(同伴者の方にも参加費が必要です)

千代田区日比谷公園1-4（日比谷公園内）
<https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/>
都営地下鉄●三田線「内幸町駅」
A7出口／徒歩3分
東京メトロ●丸ノ内線●日比谷線「霞ヶ関駅」
B2出口／徒歩3分
東京メトロ●千代田線「霞ヶ関駅」
C4出口／徒歩3分
JR「新橋駅」
日比谷口(SL広場)／徒歩10分



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、下記の対策を実施していますのでご協力ください。

- ・ご入館時には手指の消毒、職員による検温をお願いします。
- ・館内では必ずマスクを着用ください。
- ・会場定員は207名ですが、ソーシャルディスタンス確保のため定員を少なく設定し、募集を行います。